

2017.10.1

美濃宿「起宿」を歩く

○日時 10月28日(土) 13:30～19:00

○集合場所:名鉄一宮駅中央改札口前 13:30集合

○コース:名鉄バス「起」行で「起」下車。

- ① 尾西歴史資料館見学 30分
- ② 美濃宿脇本陣林家住宅 見学 30分
- ③ 起宿踏査 60分
- ④ 名鉄バス起駅から一宮駅へ移動

○懇親会 17:00～19:00

一宮駅前 嘉文

○見どころ

①尾西歴史資料館

濃尾平野の大動脈である木曽川と美濃路が交わる起の地に、昭和61年4月に開館。

美濃路の起宿、そして、その地に育まれた織物産業を始めとした歴史と文化を紹介。

また、隣接する旧林家住宅は起宿の脇本陣・船庄屋を務めた林家の旧宅で、別館として一般公開。

②起宿とは

木曽川の起し渡船場のある宿場町で水陸交通の拠点としてにぎわう。

宿場の長さは10町6間(約1100メートル)。

天保14年1843の起宿は、家数887軒、人口4,094人旅・屋22軒、本陣・脇本陣各1軒、問屋場2か所。

踏査:本陣問屋場跡・船場跡・宮河戸跡・起のイフキ・起の大イチョウ

起のヤマガキ・定渡船場跡・旧湊屋文右衛門邸・のこぎり屋根工場

③脇本陣跡地 旧林家住宅

明治24年10月28日の濃尾地震で倒壊した美濃路起宿脇本陣の建物跡地に建てられた。

大正はじめに完成し、昭和初期には母屋の北側一列を増築された。

平成14年に国の登録有形文化財建造物に指定。

江戸時代の伝統的な町屋建築の様式を伝えている。

以上